



2026年1月29日

各位

会社名 株式会社ソフトフロントホールディングス
代表者名 代表取締役社長 二通 宏久
(コード番号 2321 東証グロース)
問合せ先 取締役 財務・管理統括担当 程崎 絵李加
電話 03-6550-9270

ルームサービスの配膳ロボット導入を加速させる、SUPREEの内線電話通知 SIerと協業、既存設備を活かし客室の内線電話機に到着をお知らせ

株式会社ソフトフロントホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：二通 宏久）の子会社である株式会社ソフトフロントジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高須 英司、以下 ソフトフロント）は、同社が提供するSIP/VoIP SDK「SUPREE(スプレー)」を使い、配膳ロボットの内線電話通知機能を実現しました。既存設備（内線電話設備）を活かした構成で導入コストを抑えることで、ホテルやオフィスビル等の場所で、室内にいる人に通知が必要な配膳ロボットソリューションの利用を促進します。

本件による今期業績に与える影響は軽微であります。今後、業績への重大な影響が認められる場合には速やかにお知らせいたします。

【添付資料】

ルームサービスの配膳ロボット導入を加速させる、SUPREEの内線電話通知 SIerと協業、
既存設備を活かし客室の内線電話機に到着をお知らせ

以上

PRESS RELEASE

2026年1月29日

報道関係者各位

株式会社ソフトフロントジャパン

ルームサービスの配膳ロボット導入を加速させる、SUPREE の内線電話通知

SIer と協業、既存設備を活かし客室の内線電話機に到着をお知らせ

株式会社ソフトフロントホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：二通 宏久）の子会社である株式会社ソフトフロントジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高須 英司、以下 ソフトフロント）は、同社が提供する SIP/VoIP SDK「SUPREE(スプレー)」を使い、配膳ロボットの内線電話通知機能を実現しました。既存設備（内線電話設備）を活かした構成で導入コストを抑えことで、ホテルやオフィスビル等の場所で、室内にいる人に通知が必要な配膳ロボットソリューションの利用を促進します。



■スタッフに代わってロボットがルームサービス、到着を客室内の内線電話に通知

深刻化する人手不足やインバウンド需要の拡大を背景に、ホテル業界では効率的かつ高品質なサービス提供が求められています。特に客室へのルームサービス配膳はスタッフの移動負担が大きく、生産性向上の妨げとなっていました。こうした課題に対応するため、自律走行技術を活かした配膳ロボットの導入が加速しています。

ルームサービスの配膳は、感染症対策やプライバシー保護の観点からも一層ニーズが高まっていますが、到着時に宿泊者が確実に気づくようにするには、室内のデバイスを通して通知をしなくてはなりません。通知用のデバイスを各部屋に新規設置するには導入コストがかさむため、既存の設備を活かしコストを抑えた仕組みを検討する必要がありました。

既存設備である客室内の内線電話に着目したものの、大半のホテルでは昔からの電話設備を使用しているため、IP-PBX電話機だけでなく、アナログ PBX の電話機にも対応できるソリューションが必要とされていました。

このようなケースは、ホテルでの利用に限らず、オフィスビル内での郵送物の配達や介護施設内の料理の配膳など、幅広い業界・業務でニーズが高まっています。

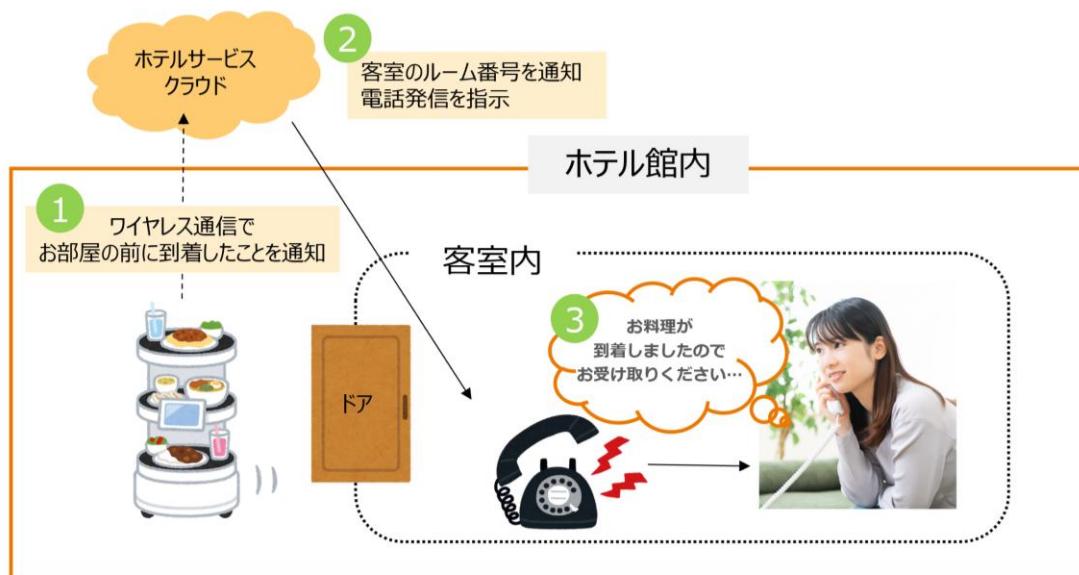
■ 様々なデバイスに音声通話機能を付与する SDK : SUPREE (スプレー)

SUPREE (スプレー) は、IoT 分野での組込み機器への通話機能追加が簡単で低コストに開発できるクライアント・アプリケーション向けの SDK です。

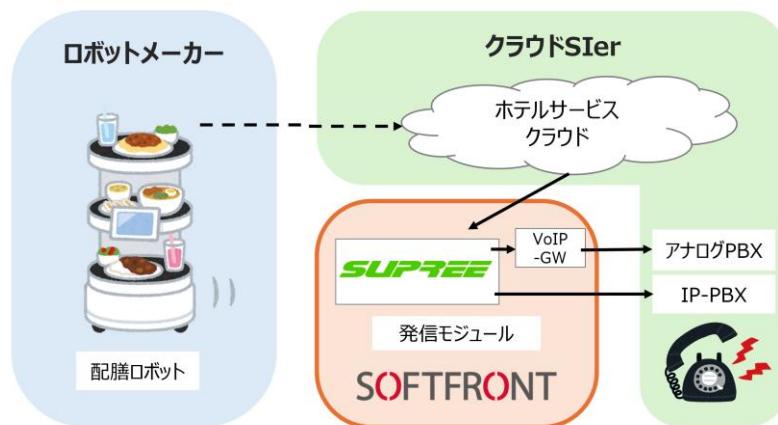
本ソリューションでは、配膳ロボットが部屋到着時にロボットのクラウドシステム経由で客室内電話に内線発信を行い、自動音声ガイダンスでルームサービス到着をお知らせする仕組みを実現しました。さらに、アナログ PBX、IP-PBX どちらにも対応できる仕組みを構築し、既存の電話設備への内線発信を可能としました。

これにより、ホテル側はコストを抑え、ルームサービスの無人化配膳を実現することができます。

本ソリューションは、ロボットと PBX の中継ぎとしてソフトフロントが技術を提供し、ロボットメーカー・SIer や、通信 SIer と協業して下記の構成を実現しています。



◆協業イメージ



SUPREE は、Android や iOS のスマートフォン・タブレットといったスマートデバイスでの音声通話に限らず、IP カメラやインターフォン、位置情報端末、ドライブレコーダーなど多くの機器で導入されています。国際規格の RFC 規格に準拠し、相互接続性に長けた“正統派”SIP/VoIP SDK で、安心してご利用をいただけます。

さらに「電話」を知り尽くしたソフトフロントが、長年の経験・技術力から柔軟で最適な音声ソリューションの提案を行い、今回のソリューション開発をサポートしています。

今後、ソフトフロントジャパンは、様々な SIer およびロボットメーカーと連携し、自走型ロボットに特化した音声通話ソリューションを進めて参ります。

<https://www.livytalk.com/supr/>

■株式会社ソフトフロントジャパンについて

ソフトフロントジャパンは、ソフトフロントホールディングスの子会社として 2016 年 8 月の発足以来、表現力豊かにつながる・伝わるコミュニケーションプラットフォームとして、通話・ビデオチャット・メッセージによるリアルタイム・コミュニケーションを中心とした各種製品やサービスを提供しています。最近は長年培ってきた音声伝送技術を元に、AI や自動化技術も取り入れ、電話業務を自動化するクラウドテレフォニーサービスプラットフォーム「telmee」や、自然会話 AI ボイスボット「commubo」を展開し、様々な事業領域で新しいコミュニケーションビジネスを創出しています。

<https://softfront-japan.co.jp/>

■お問い合わせ先

【製品に関するお問合せ】

株式会社ソフトフロントジャパン

担当：コミュニケーションプラットフォーム事業本部 原科

電話：03-6550-9930

E-mail : sales@softfront-japan.co.jp

【リリースに関するお問合せ先】

株式会社ソフトフロントホールディングス

担当：広報窓口

電話：03-6550-9270

E-mail : press@softfront.co.jp

* 本書面に記載されている会社名、製品およびサービス名は、各社の登録商標または商標です。